

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2020-64292 (P2020-64292A)

【公開日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-016

【出願番号】特願 2019-183610 (P2019-183610)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/13363 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/14 Z

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 23 日 (2020.12.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光膜と該偏光膜の少なくとも一方の側に保護層とを含む偏光板と、位相差層と、を有し、

該偏光膜が、二色性物質を含むポリビニルアルコール系樹脂フィルムで構成され、その厚みが  $8\ \mu\text{m}$  以下であり、波長  $210\ \text{nm}$  における厚み  $1\ \mu\text{m}$  あたりの直交吸光度が  $1.00$  以下であり、単体透過率が  $41.5\%$  以上であり、

該位相差層の  $\text{Re}(550)$  が  $100\ \text{nm} \sim 190\ \text{nm}$  であり、 $\text{Re}(450)/\text{Re}(550)$  が  $0.8$  以上  $1$  未満であり、

該位相差層の遅相軸と該偏光膜の吸収軸とのなす角度が  $40^\circ \sim 50^\circ$  である、  
位相差層付偏光板。

【請求項 2】

前記保護層が、弾性率が  $3000\ \text{MPa}$  以上である基材から構成される、請求項 1 に記載の位相差層付偏光板。

【請求項 3】

総厚みが、 $90\ \mu\text{m}$  以下であり、

正面反射色相が、 $3.5$  以下であり、

前記保護層が、弾性率が  $3000\ \text{MPa}$  以上である樹脂フィルムから構成される、請求項 1 または 2 に記載の位相差層付偏光板。

【請求項 4】

前記保護層が、トリアセチルセルロース系樹脂フィルムから構成される、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 5】

前記偏光板が、前記偏光膜と前記偏光膜の一方の側のみに配置された前記保護層とを含み、

前記位相差層が、粘着剤層を介して前記偏光膜に貼り合わされている、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 6】

前記位相差層が、ポリカーボネート系樹脂フィルムから構成される、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 7】

前記位相差層が、 $40\mu\text{m}$ 以下の厚みを有するポリカーボネート系樹脂フィルムから構成される、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 8】

前記偏光膜の波長  $470\text{nm}$ における直交吸光度  $A_{470}$ と波長  $600\text{nm}$ における直交吸光度  $A_{600}$ との比 ( $A_{470}/A_{600}$ )が  $0.7 \sim 2.00$ である、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 9】

前記偏光膜の直交  $b$  値が  $-10$ より大きく  $+10$ 以下である、請求項 1 から 8 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 10】

前記偏光膜のヨウ素濃度が  $3.0$ 重量%以上である、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 11】

前記偏光膜の単体透過率が  $42.5\%$ 以上である、請求項 1 から 10 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 12】

前記位相差層の外側に別の位相差層をさらに有し、該別の位相差層の屈折率特性が  $n_z > n_x = n_y$  の関係を示す、請求項 1 から 11 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 13】

前記位相差層の外側に導電層または導電層付等方性基材をさらに有する、請求項 1 から 12 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 14】

長尺状であり、

前記偏光膜が長尺方向に吸収軸を有し、

前記位相差層が、長尺方向に対して  $40^\circ \sim 50^\circ$ の角度をなす方向に遅相軸を有する斜め延伸フィルムである、

請求項 1 から 13 のいずれかに記載の位相差層付偏光板。

【請求項 15】

ロール状に巻回されている、請求項 14 に記載の位相差層付偏光板。

【請求項 16】

請求項 1 から 13 のいずれかに記載の位相差層付偏光板を備える、画像表示装置。

【請求項 17】

有機エレクトロルミネセンス表示装置または無機エレクトロルミネセンス表示装置である、請求項 16 に記載の画像表示装置。